



医療AIプラットフォームの社会実装による 医療従事者の働き方改革・医療DX実現への貢献

24年1月11日
厚生労働大臣・経済産業大臣 認可
非営利共益法人
医療AIプラットフォーム技術研究組合
専務理事 宇賀神 敦

<https://haip-cip.org/>

HAIPとは



HAIPでは、個々の企業だけでは解決し得ない医療AIサービスの普及・発展に向けた課題解決を目指し、医療機関・医療に関わる多くの企業・アカデミアが集い、医療AIプラットフォームの研究・開発を推進しています

■ 組織形態

「技術研究組合法」に則り、
厚生労働大臣、経済産業大臣認可取得の非営利共益法人

■ 組合名：医療AIプラットフォーム技術研究組合

(略称：HAIP “ Healthcare AI platform ”)

■ 設立日：2021年4月1日

■ 所在地：東京都江東区豊洲一丁目1-1

■ 役員

- 理事長：八田泰秀 (BIPROGY株式会社Executive Strategic Advisor)
- 専務理事：宇賀神敦 (株式会社日立製作所Senior Strategist)
- 理事：金子達哉 (日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員)
- 理事：藤長国浩 (ソフトバンク株式会社 専務執行役員)
- 理事：大山訓弘 (日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員)
- 理事：梅澤明弘 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター 研究所長)

■ 顧問

- 今村 聡：医療法人社団聡伸会今村医院理事長
- 賀藤 均：社会福祉法人賛育会賛育会病院副院長
- 佐藤 慎一：福島県立医科大学特任教授
- 渡部 眞也：(株)ピポタル・パートナーズ代表取締役社長
第3期SIP「統合型ヘルスケアシステムの構築」サブPD

■ 組合員

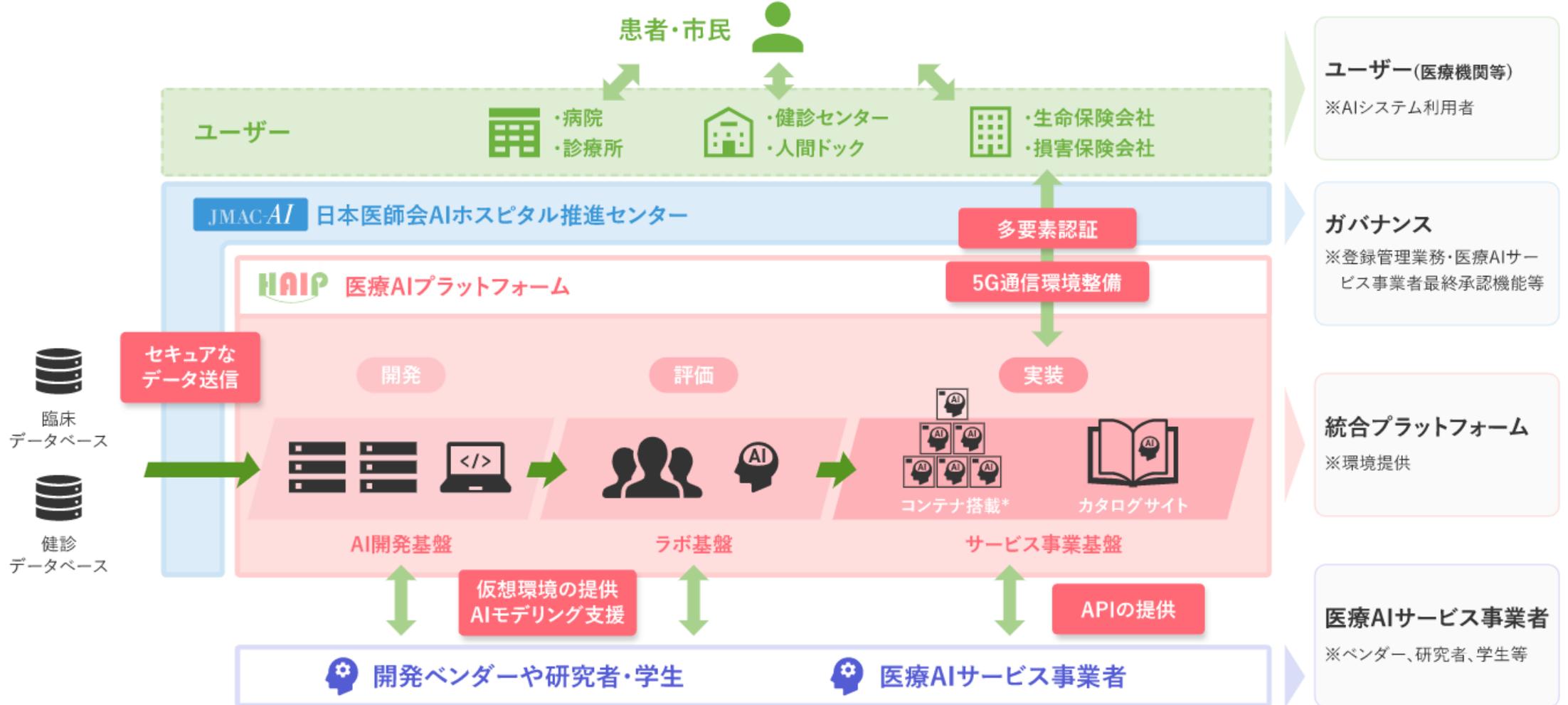
- BIPROGY株式会社
- 株式会社日立製作所
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- ソフトバンク株式会社
- 大樹生命保険株式会社
- 徳洲会インフォメーションシステム株式会社
- 日本マイクロソフト株式会社
- 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
- インターシステムズジャパン株式会社
- 国立大学法人北海道大学
- 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
- ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
- 株式会社日本政策投資銀行
- 学校法人順天堂
- 株式会社ライフクエスト

(2023年7月14日現在 15法人)



医療AIプラットフォーム概要

医療AIプラットフォームは、健診情報等を活用して医療AIのモデリングを支援する“**AI開発基盤**”、複数の専門家による評価を支援する“**ラボ基盤**”、様々な医療AIサービスのポータル機能を提供する“**サービス事業基盤**”と多くの臨床情報から構成され、医療AIの**開発～評価～実装**まで担う統合プラットフォーム



診断支援系AIサービスの利用意向

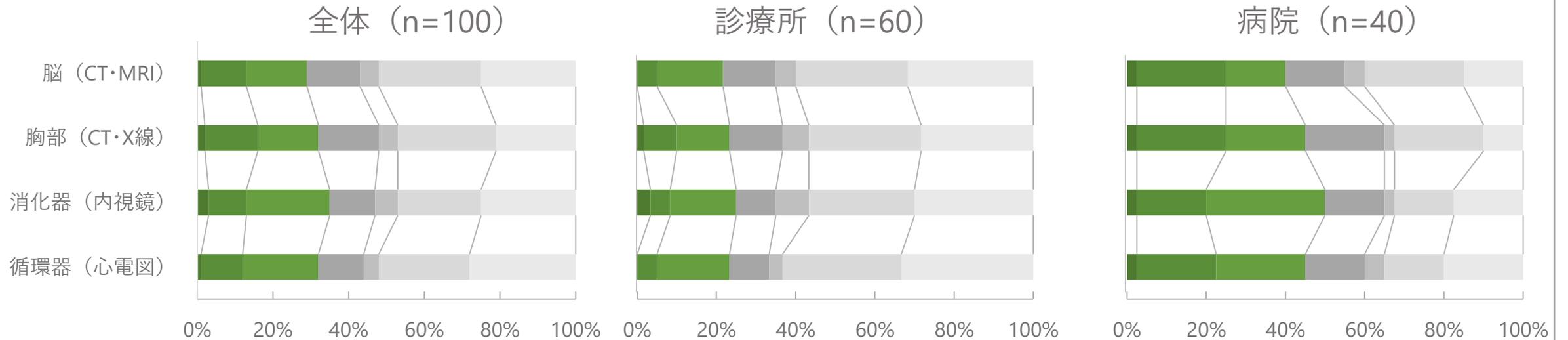
全体では3割強の施設が診断支援AIサービスを3年以内の早期に利用したいと回答し、病院においてより利用意向は高い傾向であった

Q8.実際に利用してみたいと思う「医療AIサービス」はありますか。また利用したいと思う場合は、いつ頃から利用したいかお答えください (n=100)

※HAIPによる医療機関アンケートの中間報告 (1/11時点)

診断支援系AIサービス (診断/治療の質向上)

■すでに導入済み ■すぐにでも(1年以内)利用したい ■3年以内に利用したい ■5年以内に利用したい ■7年以内に利用したい ■いつか利用したい ■使用を考えていない



アンケート概要：ネットによる医療機関への40問のアンケートを実施
 実施期間：2023年12月14日～2023年12月19日

n=100
 400床以上:14%、200床-399床:16%、
 20床-199床:10%、診療所:60%

業務効率系AIサービス利用意向



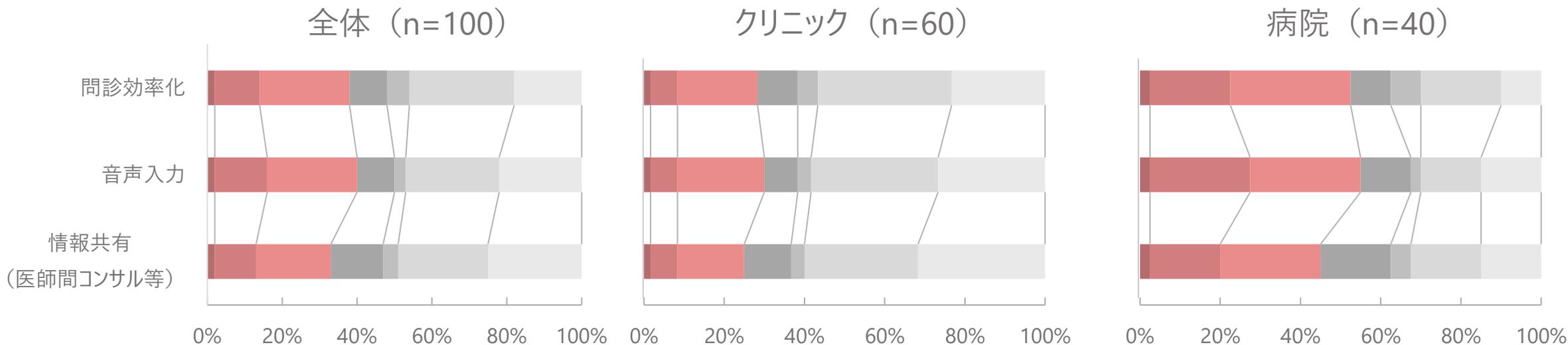
全体では3割強の施設が業務効率系サービスを3年以内の早期に利用したいと回答し、病院においてより利用意向は高い傾向であった

Q8.実際に利用してみたいと思う「医療AIサービス」はありますか。また利用したいと思う場合は、いつ頃から利用したいかお答えください (n=100)

※HAIPによる医療機関アンケートの中間報告 (1/11時点)

業務効率系AIサービス (業務効率の向上)

■すでに導入済み ■すぐにでも(1年以内)利用したい ■3年以内に利用したい ■5年以内に利用したい ■7年以内に利用したい ■いつか利用したい ■使用を考えていない



n=100

400床以上:14%、200床-399床:16%、
20床-199床:10%、診療所:60%

医療AIサービスに対する期待 (全体)

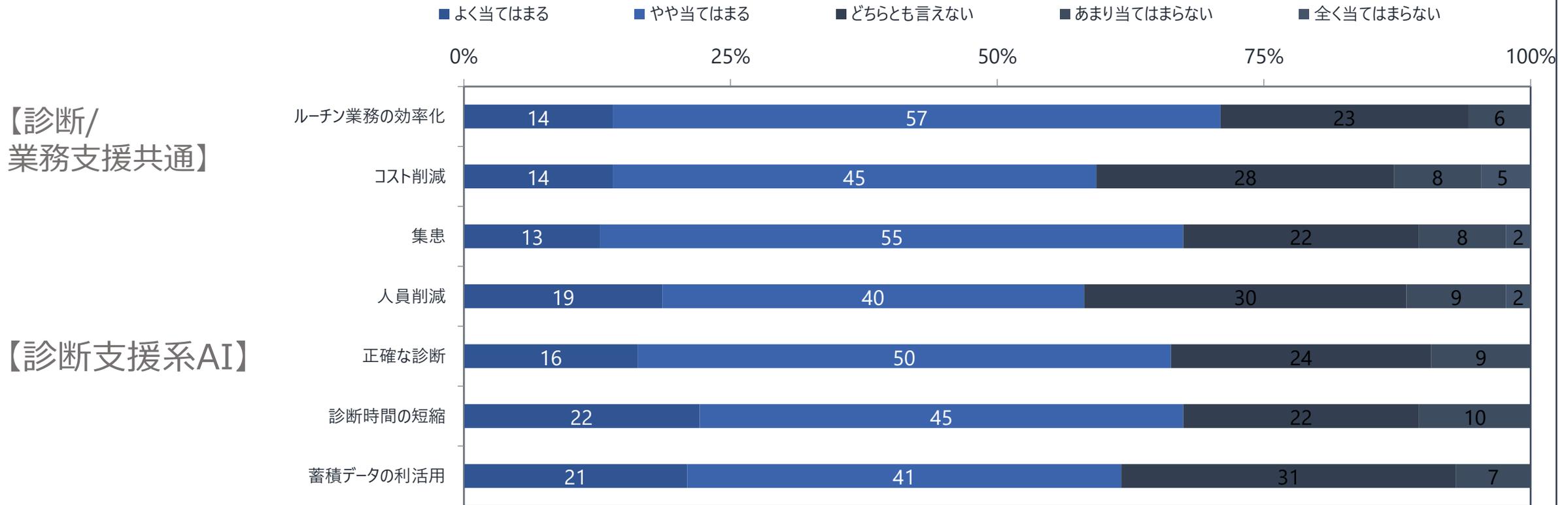
医療AIサービスに対して診断および業務支援にかかわらず6~7割程度の期待があると回答を得た

Q9. 今後利用したいと考える「医療AIサービス」がある場合、それによって何が期待できるとお考えでしょうか
それぞれの以下項目に対して、どの程度当てはまるか教えてください

(n=86)

※HAIPによる医療機関アンケートの中間報告 (1/11時点)

医療AIサービスに対する期待 (全体)



医療AIサービスを導入する場合の懸念 (全体)



導入時の懸念として、**医療収入メリットに乏しい**、**AIの精度**、**オペレーションの変更**や**患者同意取得**に対する懸念が高い結果であった

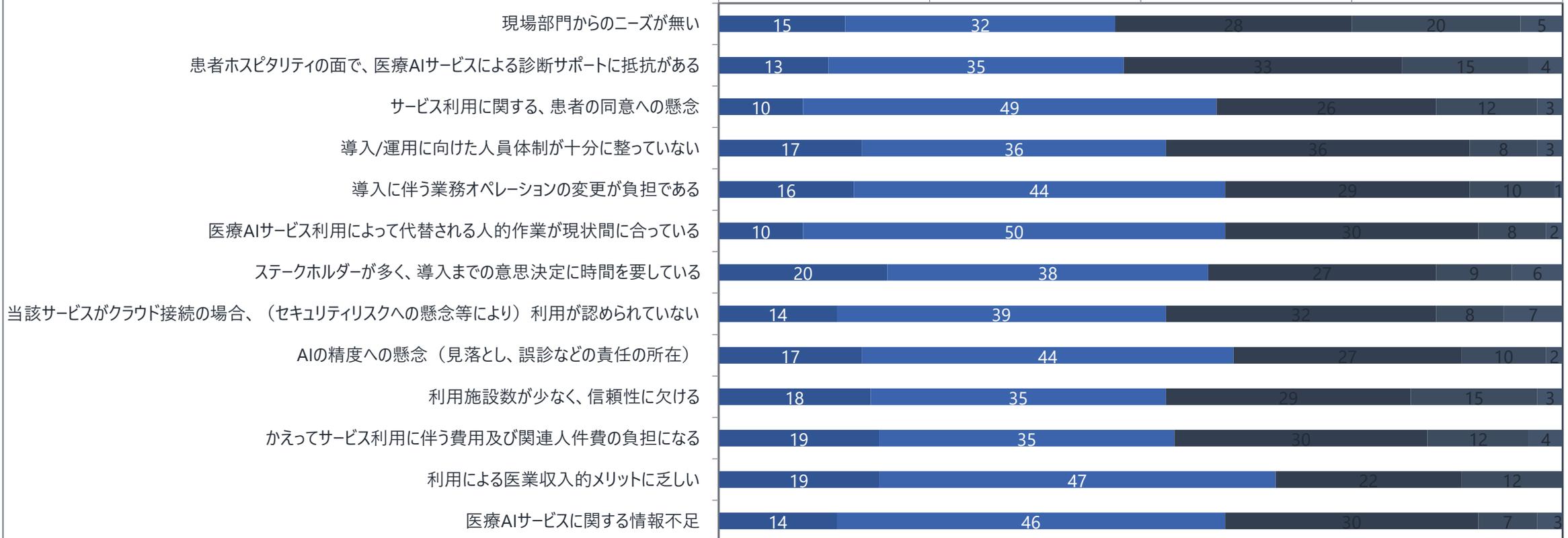
Q10. 今後もし「医療AIサービス」を導入する場合の懸念について、それぞれの以下項目に対して、どの程度当てはまるか教えてください (n=100)

※HAIPによる医療機関アンケートの中間報告 (1/11時点)

医療AIサービスを導入する場合の懸念 (全体)

■ よく当てはまる ■ やや当てはまる ■ どちらとも言えない ■ あまり当てはまらない ■ 全く当てはまらない

0% 25% 50% 75% 100%



医療AIプラットフォーム活用によるAIサービスの普及・拡大

医療従事者の働き方改革・医療DXの実現への貢献

アプリケーション

SaMD/
Non SaMD
(既存サービス)

SaMD/Non SaMD
(新たなサービス)

従来のAI
(識別・分類・予測など)

生成AI
(大規模言語モデルなど)

マルチモーダルデータ

プラットフォーム

医療AIの開発～評価～実装まで担う統合型クラウドプラットフォーム

- ・サービス事業基盤
- ・ラボ基盤
- ・AI開発基盤

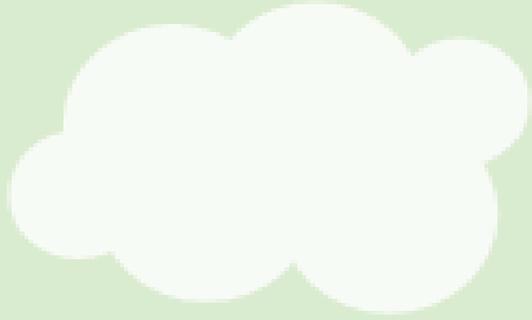
インフラ

医療機関内外の接続が容易な安全・安心なネットワークセキュリティ環境

- ・クラウド上のAIサービス利用施策の提言
- ・安全・安心なネットワーク環境の提供

共通

- ・医療現場の理解→プロト開発→実証→サービス化
- ・研究成果/ユースケースの公開
- ・標準インタフェース
- ・ビジネスエコシステム
- ・リソースマッチング
- ・ロビー活動



HAIIP

